

自動車から自転車への 転換施策の有効性に関する意識調査



国土技術政策総合研究所
道路研究室 山本 彰、小林 寛、橋本 雄太、上坂 克巳

背景と目的

我が国の自転車の交通分担率は、他国と比較しても高い状況にある。
今後も自転車の利用を促進するには、自動車から自転車への転換を進めることが重要である。

よって、自転車利用者のみならず、自動車利用者も含めて、交通モードの選択理由や、自動車から自転車へ転換するための動機について、把握することが求められる。

本報告では、WEBアンケートを用いて、自転車、自動車利用者を対象に自転車利用に対する意識や、様々な自転車利用促進施策の有効性について、調査を行い分析した結果を報告するものである。

1

WEBアンケート調査の概要

実施時期:2012年1月16日~19日
有効回答数:合計4,963人

<<調査した主な内容>>

日常的に**自転車**を利用している人

➡ 自転車を日常的に利用し始めた時期
なぜ自転車を利用しているか

日常的に**自動車**を利用している人

➡ なぜ自転車を利用しないか
どうしたら自転車に乗り換えるか

2

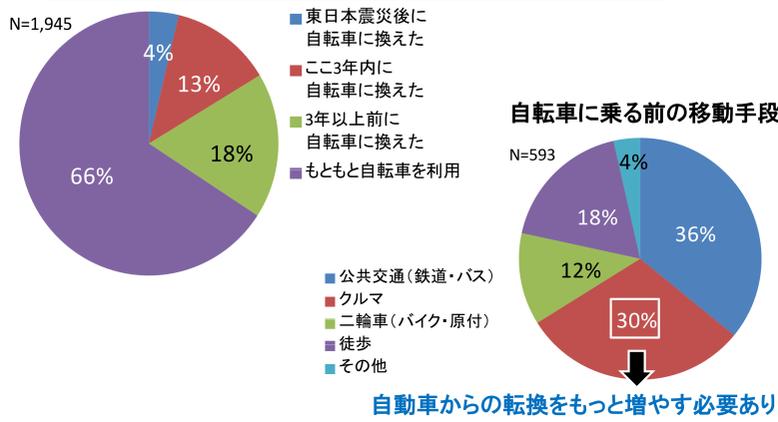
WEBアンケート調査 実施地域



3

WEBアンケート調査の結果

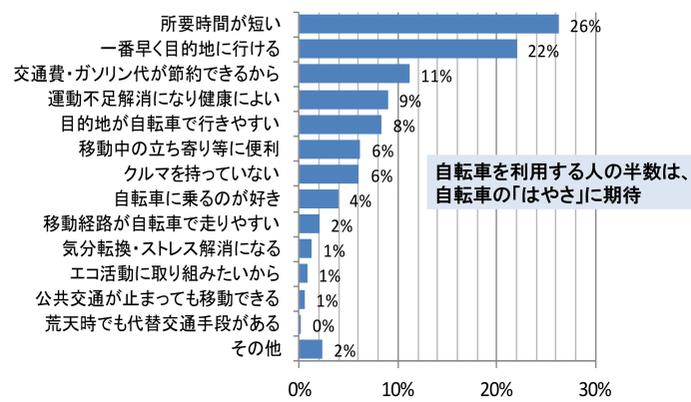
日常的に自転車を利用し始めたのはいつ?



4

WEBアンケート調査の結果

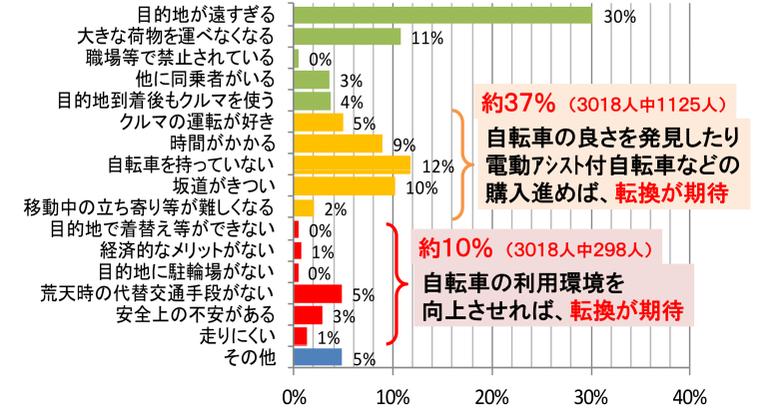
日常的に自転車を利用する理由は?



5

WEBアンケート調査の結果

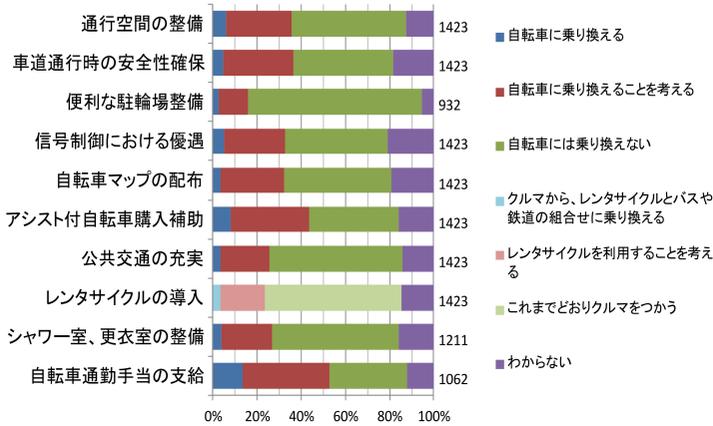
自転車を利用しないのはなぜ?



6

WEBアンケート調査の結果

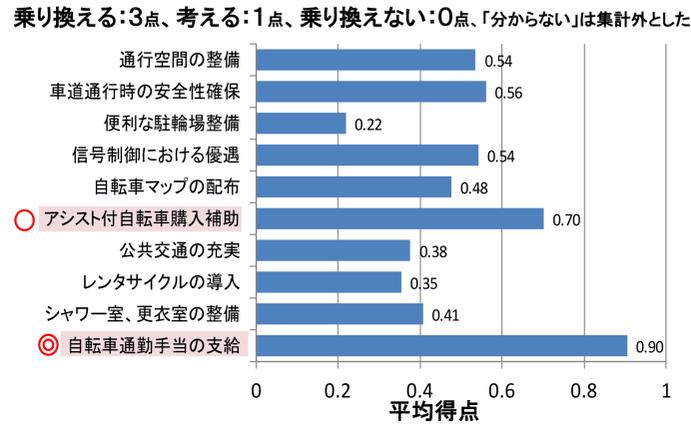
何をすれば、自動車から自転車に乗り換えるか?



7

WEBアンケート調査の結果

施策別の有効性の比較



8

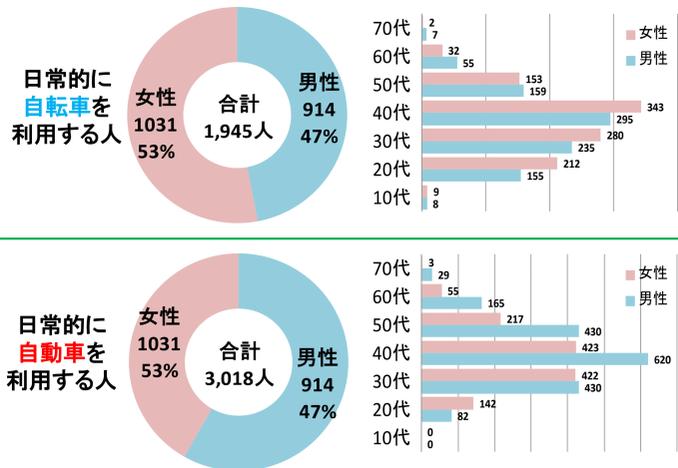
まとめ

1. 自転車に転換した人のうち、
自動車から転換した人は 3割
2. 自転車を日常的に利用している人が
自転車に求めることは 「はやすさ」
3. 自動車を日常的に利用している人が自転車に乗らない理由
約5割は、自転車を使えない事情がある
約4割は、自転車の良さ、はやすさを知ってもらえれば、
また、アシスト付自転車の購入が進めば、.....
約1割は、自転車の利用環境が向上すれば、.....

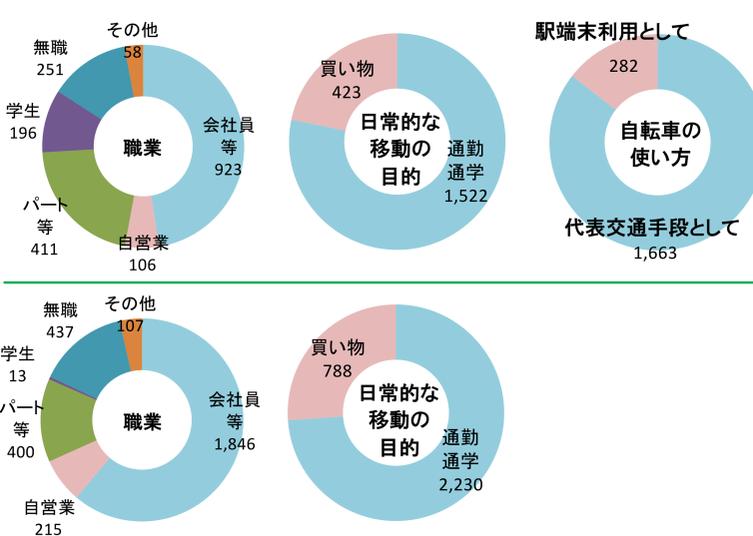
自動車から自転車へ転換する可能性はある

9

WEBアンケート 回答者内訳



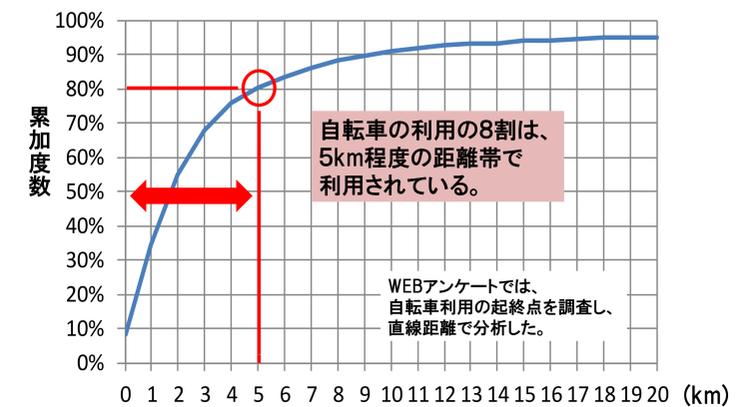
10



11

WEBアンケート調査の結果

日常的に自転車を利用している距離は?



12